

年末年始アメリカ旅行記

飄

々

広報委員

小篠 純一

年末年始にアメリカ旅行に行ってきました。私にとって、海外旅行は高校生の頃の韓国ソウルへの修学旅行、大学卒業時の釜山、医者2年目のときの中国四川省への学会以来およそ25年ぶりでした。もともと出不精な私は、今回旅行に行くかどうか悩みましたが、家族と海外で年越しをする機会はなかなか無いかと考え、悩んだ末にアメリカに行く決断をしました。

まずは、羽田空港からロサンゼルス行きの飛行機ですが、これも海外旅行あるあるなのでしょうか？！飛行機の到着遅れでいきなり8時間遅れの出発となり、海外旅行の洗礼を浴びた気分でしたが、普段あまりゆっくりできない羽田空港でのんびり過ごすことができました。飛行機内で10時間も過ごす経験は初めてだったので、非常に不安でしたが、ゆったりとしたシートで食事も出て快適な旅でした。本来ならアルコールも飲んで、ぐっすり眠りたかったのですが、トイレなども考え自粛しました。

無事にロサンゼルス空港に到着しましたが、日本との時差が-17時間でさらに日付変更線をまたいでいるので、私には出発当日なのか？翌日なのか？よくわかりませんでした。アメリカ5日間の旅が始まりました。

まあ予想していたことではあったのですが、入国審査で英語が聞き取れず、しどろもどろでした。「滞在の目的は？」などと聞かれたと思うのですが、よく覚えていませんし、そもそも理解できていません。指紋を上手にカメラに撮れない私の指をぐっと抑えてきて、入国審査官もなんだかイライラしていました。一番印象深かったのは、「何日滞在するんだ？」と聞かれ、5日間と返答

しました。さらに追い詰めてきて、「どこで、どんな予定だ」と聞いてきました。適当にロス3日、グランドキャニオン1日、ラスベガス2日、と答えました。すると、「6日間になるじゃないか!？」とさらに追い込んできました。グランドキャニオンには泊まらないのでわざわざ言わなくてもよかったのかなと思います。「日帰り、ひがえり、HIGAERI」と連呼したのは内緒です。最後には、入国審査官も諦めて、私を入国させてくれました。

ハリウッド、ディズニーランド、カジノ、グランドキャニオンなどの観光も非常に楽しかったのですが、その際の移動で利用する空港や道路のスケールが大きいこと、大きいこと、大変驚きました。日本がいろいろ工夫してうまく活用するような緻密さと、真逆で、良い意味で大雑把でした。

書きたいことはまだまだいっぱいあるのですが、自分自身への備忘録として「アメリカにウォシュレットは無い！携帯ウォシュレットは必須」とさせていただきます。